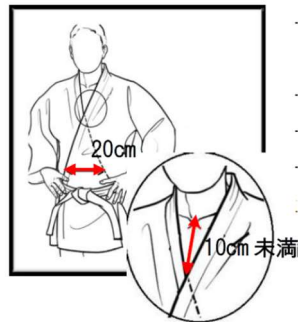
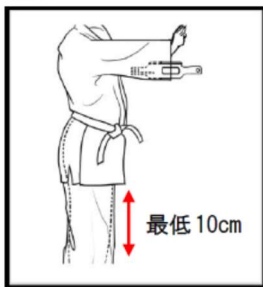


上衣（うわぎ）

上衣



上衣は、完全に臀部を覆っていなければならない。

ただし、膝から最低でも 10cm の距離があること。

袖の長さ（コントロールの際、腕は真っ直ぐ伸ばして掌で三角形を作る）

-測定器全体がスムーズに袖の中にすべり入らなければならない。

-腕を上げ、柔道衣コントロールの姿勢になった時に、上衣の袖は手首を含めた腕全体を覆わなくてはならない。

上衣を前で重ねた際、2つの下襟の距離は水平に少なくとも 20 cm 必要である。

襟の厚さは 1 cm かそれ以下であること。

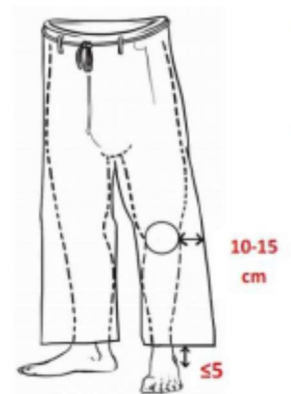
襟の幅は 4 cm であること。

胸骨の一番上から、上衣の重なり合っている所の距離は垂直で 10 cm 未満でなくてはならない。

下穿（したばき）

下穿の裾口からくるぶしの外側（足首）までの距離は 5 cm かそれ以下であること。

下穿の幅は、膝の位置で、10 cm～15 cm であること。



帯（おび）

帯の厚さは 4 mm～5 mm であること。

中央の結び目から帯の端までの長さは、20 cm～30 cm であること。

帯は正しく、且つきつく結ばなければならない。

帯は、硬く滑りやすい素材であってはならない。

Tシャツ（女性用）

色は白、半そで、丸首

製造業者マークは、最大 20cm² のサイズであれば認められる。

柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。

※所属を表すエンブレムを左胸に付けることは認められる。大きさは最大 100cm² とする。

いかなる商業的なマーケティングもつけてはならない。

その他

全柔連主催の指定大会においては、認証柔道衣等の着用と、氏名等の表示方法が規則として定められている。全柔連主催の指定大会以外については、主催者において判断する。